

### 3、保健 <傷害の防止>

(1) 次の文の ( ) にあてはまる語句を語群から選び、解答欄に記入しなさい。<各1点>

- ・中学生では、( ① ) や水難事故が、事故の死亡原因の大半となっている。体育授業や ( ② ) 活動での事故の傷害が学校では多く発生している。
- ・傷害は危険な行動、不安定な心身の状態などの ( ③ ) と、( ④ ) の悪条件、危険な物や ( ⑤ ) などの ( ⑥ ) とが、関わって発生する。
- ・傷害の防止には、状況を把握するなどの危険予測・危険 ( ⑦ ) の能力や、危険な物や場所についての点検や ( ⑧ ) 、改善が必要である。
- ・中学校の交通事故は、( ⑨ ) によく起こっている。また、近年では、( ⑩ ) と歩行者、( ⑩ ) 同士の事故が多く起こっていることが問題になっている。
- ・交通事故は、③、⑥、整備不良などの ( ⑪ ) が複雑に関わり合って起こる。

<語群>						
自転車	車両要因	自転車乗用中	自動車乗用中	交通事故		
運動部	自然	環境要因	場所	回避	大的要因	整備

(2) 次の各文でその内容が正しい場合には○、間違っている場合には×で答えなさい。<各1点>

- ①中学生は、小学生と比べて犯罪被害にあう可能性が低い。
- ②犯罪被害による傷害を防ぐためには、犯罪が起こりやすい場所や場面に近づかないことが有効である。
- ③犯罪被害による傷害を防ぐためには、自分の身を自分で守る以外に方法はない。

(3) 次の文の ( ) にあてはまる語句を考え、解答欄に記入しなさい。<各2点>

日本では地震や台風、( ア )、大雪などの自然災害によって生命や生活が脅かされていることが少なくない。自然災害による被害を防止するためには、( イ ) が必要である。自然災害が発生したときには、テレビやラジオなどで正しい ( ウ ) を得るとともに、状況を的確に ( エ ) し、落ち着いて、素早く安全に行動することが必要である。

( オ ) は発生予知が困難で、建物の倒壊や家具の転倒などを引き起こす。エの ( カ ) には、津波や土砂崩れ、地割れなどがあり、これらが被害を大きくすることがある。

(4) 次の文の ( ) にあてはまる語句を考え、解答欄に記入しなさい。<各2点>

傷病者に近づいて ( a ) があれば止血などの応急手当を行い、aがなければ通報したり助けを求めたりした後、( b ) を行う。bでは、( c ) を最初に行う。AEDがある場合はAEDを使う。

まずの手当の基本は、出血を止める。( d ) を防ぐ。( e ) を和らげることである。出血が多い場合には、直ちに止血が必要である。止血法の基本は ( f ) 止血法である。骨折が疑われる場合は、患部を動かさないように ( g ) をする必要がある。